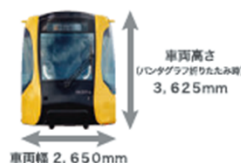


ライトラインの特徴 Light line features

外装

色彩は、先頭部を強調する黄色いL字状のカラーリングによって「雷光(稲妻)の力」や、芳賀・宇都宮を牽引する「先進性」を表現しました。

形状の特徴は、車両前面に大きなガラスを用い、流れるような前頭形状を表現するとともに、側面から先頭につながるダイナミックなラインを、ビラー(前頭部の柱)にもつなげることで、



パンタグラフ

- ・炭線から電力を取り入れるための装置
- ・電圧も1ターボで駆動するため環境にやさしい

架線

- ・電力源になる電気が流れている
- ・電圧低下など電気的な損失が少なく、架線など設備の経済性においても有利であるため、国内初の750Vを採用

貫通鏡

- ・連結した車両の境を覆う部分で、乗客の転落防止と風雨を防ぐために設置

運転席

- ・ワンマン運転
- ・運転最高速度は時速40km

ノーズ

- ・LRTの【L字型】をモチーフにした流れるような先頭のかたちが特徴

レール

- ・軌道と呼ばれるレールの上を走る

乗降口

- ・全ての扉で交通系ICカードでの支払いが可能

窓

- ・外の景色を楽しめるよう大きな窓を採用

低床設計

- ・乗降口は、高さ30cmの低床設計。乗降者の高さに合わせているため、段差はほとんどなく、車椅子を利用する方や高齢者もスムーズに乗り降り可能

内装



ライトラインの輸送力 Transport capacity of light line



ライトラインの効果 Light line effect

1日利用者数(令和7年4月)

平日 約17,000人~19,000人/日
予測約12,800人の約**1.3~1.5倍**の利用

土日 約10,000人/日
予測約4,400人の約**2.3倍**の利用

開業から594日目当たる25年4月10日、利用者数の累計が**800万人**を達成

ライトラインの乗車方法 How to ride the light line

乗用台での乗降は乗車用・降車用ノーズを上下に設置することにより、交通系ICカードで全線からのスムーズな乗降を可能とする「乗降促進(セルフ乗降)方式」を採用しました。



月別利用者数の推移(令和6年度)



まちの変化

ライトライン沿線の人口

約5,600人(10%)増加

宇都宮市全体の人口は減少する傾向にある中、ライトライン沿線は増加(H24:約5,9万人⇒R6:約6,4万人)

出典:宇都宮市「住民基本台帳」

ライトライン沿線人口の社会増

約1,900人転入超過

[社会増減](R3.6~R6.9の累計)

出典:宇都宮市「住民基本台帳」

ライトライン沿線内	ライトライン沿線外	宇都宮市
1,880(+2.99%)	29(+0.01%)	1,909(+0.37%)

ライトライン沿線の地価

商業地 約9%上昇 住宅地 約14%上昇

ライトライン沿線の地価は、事業化が確実に進んだH25以降上昇基調が継続

出典:国土交通省「地価公示」

清原工業団地における新規投資額

約1,100+α億円

清原工業団地では、ライトライン開業前後に、公表されているだけでも、工場の建設などで1,100億円超の投資がされています。

出典:各企業のプレスリリース資料(5社)より抜粋

移住相談件数

約10倍に増加 R2(55件)▶R5(556件)

移住者数

約14倍に増加 R2(26人)▶R5(364人)